

# 明るい未来の創造に向けて！ 地域の声を県政に！

山形県議会議員 **高橋 淳** じゅん 県政報告 <No.3>

■発行日：2021年3月22日（作成：2021年3月12日） 山形県議会議員 高橋 淳事務所 発行

〒999-7601 山形県鶴岡市藤島古橋跡100-1

TEL:0235-26-8731/FAX:0235-26-8732 /Mail: takahashi.jun.kouenkai@gmail.com

■山形県議会（県政クラブ執務室）TEL：023-630-3211（4階受付）



## 令和3年度県予算案内示 一般会計総額6,823億4,300万円

■令和2年度当初に比べ11.2%増！ 6,800億円を超えるのは20年ぶり！新型コロナ関連、子育て費用、治水対策など

## 東日本大震災から10年！県内での新型コロナワクチン接種開始！

■県内での新型コロナウイルスのワクチン接種が開始！ ■高齢者への接種開始予定時期は4/12の週から5市村で開始！

東日本大震災から10年がたちました。震災によって亡くなられた方々とご遺族に対し深く哀悼の意を表するとともに、今なお苦難を背負いながら懸命に努力を続けている皆さんの安らかな日々が早く戻ることをご祈念いたします。そして、大震災の経験と教訓を忘れず未来へ語り継ぐ事が大切です。



さて、令和2年度当初から未曾有の大災害となった新型コロナウイルス感染症。そして県内では7月の記録的な豪雨災害、12月は鶴岡での豚熱発生。年末年始にかけの警報級の大雪と暴風。さらに今年に入ってから記録的な大雪と庄内地域での暴風雪と強風被害、また、福島県沖を震源とする地震発生など災害の多い1年でありました。

政府の緊急事態宣言、また、コロナ禍によって、教育・文化・商工・スポーツ、地域活動やイベントなどについても、事業の中止や変更を余儀なくされ、様々な活動や大会等が中止となりました。関係者の方々も苦渋の決断を余儀なくされ、子供たちを含む多くのみなさんが、悲しまれたことと思っております。

そして、この間、医療従事者の方々をはじめ、県民生活を支えていただいている保育・介護等の福祉サービス事業者や運送事業者等の皆様方の御尽力に対して、改めて深く敬意を表しますとともに、心から感謝を申し上げます。

今はコロナ対策とワクチン接種などの目の前の課題、依然として厳しい県内の経済回復に向けた一層の支援策など、引き続き県政の課題は山積みですが、県民の皆様の「命と暮らし」を守り、山形県の経済再生に向けて、皆さんと共に進んでいきましょう！！



### 【令和3年度当初予算案内示】 新型コロナウィルス対応や子育て費用などの予算が大きく膨らむ！

令和3年2月16日に、令和3年度当初予算案が県議会に内示されました。

一般会計の総額は6,823億4,300万円（商工費19.5%、教育費16.4%、公債費12.9%他）。前年度当初に比べて11.2%増、3年連続の前年比プラスで、6,800億円を超えるのは20年ぶりです。

特に、新型コロナウイルス対応や子育て費用の段階的無償化などの予算が大きく膨らんでいます。

新型コロナ関連で最も予算額が大きいのは商工業振興資金。金融機関への預託金に659億8,950万円。利子補給額として21億1,422万円を計上しています。



また、昨年の7月豪雨を踏まえた治水対策や道路ネットワーク整備は、20年度補正予算と合わせての予算となっています。

※東北6県の予算規模の状況を見ますと、福島県12,585億円が一番大きく、秋田県が5,622億円の一番小さい予算規模となっています。そして、※人口1人当たりの予算額の状況では、福島県、岩手県に続いて、山形県は3番目となっており、1人当たり予算総額は640,725円（うち投資的経費79,594円）です。（注）※令和2年10月1日現在の推計人口で計算。

### 【県内でのワクチン接種が開始】 高齢者への接種開始予定は4/12の週から5市村で開始されます！

新型コロナウイルスのワクチン接種が令和3年3月5日、県内で医療従事者を対象に始まりました。

厚生労働省の方針では、重症者リスクの大きさ等を踏まえ、まずは、①医療従事者等、次に、②高齢者、その次に、③基礎疾患を有する者、高齢者施設等従事者、それ以外については、ワクチンの供給量や地域の実情等を踏まえ、順次接種を開始する方針です。

県内においては入荷の目途が立っているワクチン量を見据え、医療従事者等へ1回目接種（入荷3/4～）、2回目接種（3/22週～）を予定していますが、県は12日、新型コロナワクチンの4月中の配分（供給）を発表し、高齢者に対する新型コロナウイルスワクチンの接種について、4月12日の週に、「山形、鶴岡、長井、南陽、大蔵」の5市村で開始すると発表いたしました。

なお、ワクチン量に限りがあるため、各市町村の「接種開始予定時期」以降、段階的に接種が行われる見込みとなっています。



## 【新型コロナウイルス感染症対応資金の借換制限緩和】 ☞ 限度額の引上げと借換制限が緩和されました！！

新型コロナの影響により、経営に支障をきたしている県内中小企業の皆さんの声に応え、全国でも優れた政策の一つとして、山形県商工業振興資金「地域経済変動対策資金」の貸付を市町村と一体となって8月31日まで受付を行いました。

年1.6%の利子を県と市町村が同率の0.5%を、残りの0.6%を金融機関が支援し、更に、山形県信用保証協会の保証料につきましても、利用者の負担をゼロにして県内経済を支えています。

また、山形県では、政府の補正予算を活用し、3年間無利子・10年間無保証料の「新型コロナウイルス感染症対応資金」を実施しておりますが、令和3年2月1日から限度額を4,000万円から6,000万円に引上げし、借入した金融機関での借換が可能となる「借換制限の緩和」を2月19日から行っています（**期限間近です**）。

詳しくは、県中小企業振興課、県内各取扱金融機関までお早めにご相談ください。☞ **取扱期間：令和3年3月31日まで（保証申込期限）**



※昨年8月21日に庄内総合支庁で行われた県知事との意見交換では、鶴岡市の飲食店経営者などからの意見等を踏まえ、『雇用調整助成金の延長を国に要望していただきたい。商工業振興資金について据置期間の延長が出来ないか、地域の経済動向を見据えながら検討いただきたい。』などの要望を行いました（会議録抜粋）。

### ◆商工業振興資金の新型コロナ関係資金の認定状況（参考）

		件数	金額	備考
①地域経済変動対策資金 (令和2年8月末までの申請分)	低利融資	184件	3,243百万円	利率1.6%
	無利子融資	7,303件	180,578百万円	10年間無利子
	小計	※7,487件	183,821百万円	
②新型コロナウイルス感染症対応資金 (令和3年1月末保証承諾分)		<b>2,758件</b>	<b>45,995百万円</b>	<b>3年間無利子</b>
合計		<b>10,245件</b>	<b>229,816百万円</b>	

☞ **借換による“メリット”について**  
既に融資を受けている本資金について、据置期間等の繰延べが可能となります。  
また、利子補給については、借換時点から改めて3年間受けることが出来ます。それと、追加融資と同時に借換を行うことで、融資の一歩化が図られるメリットがあります。

※地域経済変動対策資金7,487件の内訳については、建設業1,695件（22.6%）と最も多く、次いで製造業1,303件（17.4%）、飲食業1,128件（15.1%）、小売業が1,086件（14.5%）、その他サービス業1,080件（14.4%）、卸売業が450件（6.0%）、宿泊業252件（3.4%）の順となっています。

## 令和2年度 山形県議会定例会（一般質問・予算特別委員会）での発言要旨

### <山形県議会インターネット中継・録画>

☞ 一般質問・予算特別委員会などの質疑質問の様子（動画）や会議録などは、スマホなどからご覧いただけます。県議会の情報は、山形県議会ホームページに掲載です。ぜひご覧ください！

<http://gikai.pref.yamagata.jp/YamagataPref/>

### ◆山形県議会9月定例会 一般質問 9/28

- 県税徴収方法の効率化・多様化に向けた取組みについて（総務部長）
  - ☞ 財政健全化に向けては、歳入の見直しと同時に、年々歳入規模が減少している現状を鑑みると「歳入の確保」が重要な課題となっている。県税の納付については、利用者中心の行政サービスを提供する「納税者の利便性の向上」が求められており、電子媒体を活用した収納方法の推進など「徴収方法の効率化・多様化」が必要である。県では今後の社会情勢の変化等を踏まえ、県税徴収方法の効率化・多様化に向けた取組みをどのように行っていくのか。※一部抜粋
- 新型コロナウイルス感染症に対する本県農林水産業の対応について（農林水産部長）
- さくらんぼ等の豊富な本県果物の国内外への情報発信について（農林水産部長）
- 学校現場に即したICT教育の進め方について（教育長）
- コロナ禍における県民の健康づくりについて（健康福祉部長）
- 東北公益文科大学の現状と課題について
  - （1）大学改革の取組み・評価等について（総務部長）
  - （2）東北公益文科大学の将来の在り方について（知事）
- 今後の再生可能エネルギー導入の進め方について（環境エネルギー部長）
- 日本海沿岸東北自動車道の整備促進について（県土整備部長）



◆ 県議会2月定例会が18日に開会し、一般会計当初予算案や、副知事に現職の若松正俊氏を再任する人事案、今年度大雪による道路除雪費などを盛り込んだ20年度一般会計補正予算案など、計95議案が提出されました。3月4日の予算特別委員会では、地域の県政課題などについて質疑を行いました。

### ◆山形県議会2月定例会 予算特別委員会 3/4

- 農林水産業の振興について（農林水産部長）
  - （1）水田の基盤整備促進と再整備の考え方について
    - ☞ 山形県は時間のかかるフル整備ではなく、部分的な圃場整備を進めようとしているが、県としてどのような方向で農家のこれからの未来像を考えているのか。国の予算が制約される中で、水田の大区画化に向けた再整備の進捗状況と、担い手が夢と希望を持てる水田をどのようにして整備していくのか。※一部抜粋
  - （2）環境保全型農業の推進について
  - （3）養豚業の振興について
  - （4）豚熱への対応について
- コロナ禍における結婚支援について（子育て若者応援部長）
- 内部統制の運用状況と監査の重点等について（代表監査委員）



### <令和2年度山形県議会 所属委員等>

- ・建設常任委員会（委員）・予算特別委員会（委員）
  - ・産業競争力強化・担い手確保対策特別委員会（副委員長）
  - ・新型コロナウイルス感染症対策特別委員会（委員）
  - ・山形県議会広報・広聴委員会（委員）
- ・山形県議会議員 高橋淳事務所 電話：0235-26-8731  
・皆様からの県政に対するご意見をお待ちしております。

